

Culib News (クリブニュース)

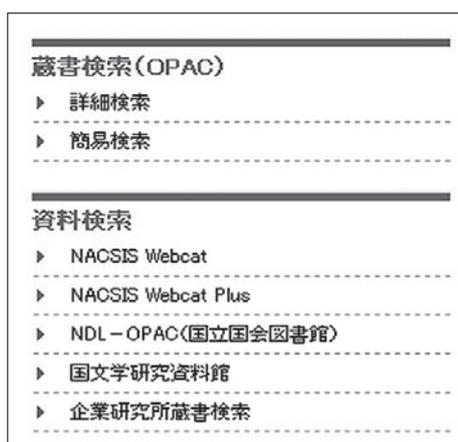
No.62 2009年10月10日 中京大学図書館発行

IT を活用した図書検索サービス —用途に応じた検索サービスを活用しよう—

中京大学図書館長 棚橋 純一

情報技術 (IT) が広く利用される時代になり、図書館でも IT を活用したサービスの提供が求められるようになってきた。この要求に応えるため、中京大学図書館では検索や電子化図書などの分野を中心に IT を活用したサービスを提供している。今回はそのうち、検索分野で提供中の IT 活用サービスについて紹介してみたい。

現在提供中の検索サービスは、図1に示すように、中京大学図書館の所蔵本を対象にした蔵書検索と、他大学など本学以外の図書館の所蔵本を対象とした資料検索がある。以下これらの概要を紹介するが、資料検索については5つのうち利用範囲が広い上位3つを取り上げる。



蔵書検索(OPAC)	
▶	詳細検索
▶	簡易検索
資料検索	
▶	NACSIS Webcat
▶	NACSIS Webcat Plus
▶	NDL-OPAC(国立国会図書館)
▶	国文学研究資料館
▶	企業研究所蔵書検索

図1 中京大学図書館の検索サービス (図書館 Web ページからの抜粋)

本学図書館の所蔵本を対象とした蔵書検索では、広く採用されている OPAC (Online Public Access Catalog) と呼ぶツールによる検索サービスを提供している。OPAC では所蔵本の書誌情報に関する目録データベースを用意しており、これにアクセスすることにより、所望する本の有無や所在場所が迅速に調べられる。簡易検索と詳細検索の2つのモードを用意し、利用場面に応じて適切な方を選択できるようになっている。

所望の本が中京大図書館にない場合は、外部図書館の検索が必要で、このためのサービスメニューが資料検索欄に示されている。まず他大学の図書館を検索するのに便利なのが資料検索欄のトップに示されている Webcat と呼ばれる検索サービスである。これは国立情報学研究所が全国の大学図書館の所蔵本を横断的に検索できるように作成した目録データベースであり、これにアクセスすることにより所望の本がどこの大学図書館にあるか速やかに調べられる。

資料検索欄の2番目に示した Webcat Plus は Webcat の発展系で、大学図書館の所蔵本に関する横断検索ができると同時に、「連想検索」や「目次や帯情報の表示」などの機能も備え、Webcat より魅力が大きい検索サービスである。

筆者がこれまでに利用した範囲では、「目次や帯情報の表示」機能に大きな魅力を感じている。Webcat Plus で提示された本のタイトルをクリックすると、図2のような図書情報が得られる。所蔵図書館が9館あることがわかる。大学図書館名を知りたい場合はさらにそこをクリックする。「BOOK」データベースとの連携により、本の帯情報や目次も表示されるので本の概要を知ることができ大変便利である。

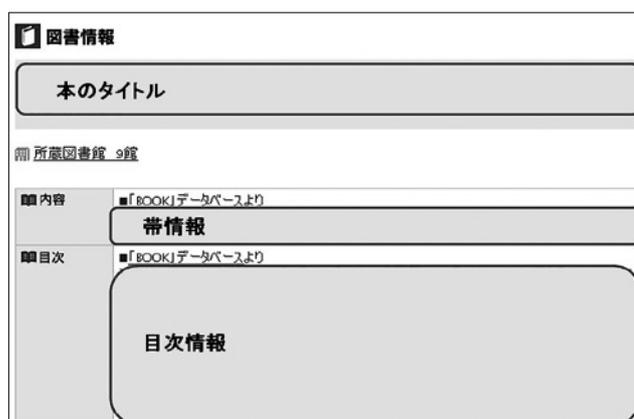


図2 Webcat Plus で得られる図書情報画面例（書誌情報部分は除く）

所望の本が大学図書館にもない場合は、もっと大規模な図書館の検索が必要である。この要求に応えるため、国立国会図書館の OPAC へアクセスするメニューも用意した。日本で出版されるすべて本が納本制度で保存されているはずなので、大半はここで見つかると思われる。

以上、中京大学図書館で提供中の代表的検索サービスについて紹介した。各検索サービスはどのような用途の時に利用すべきかを要約すると次のようになる。多くの方が用途に応じた検索サービスを活用されることを切に期待する。

- ・蔵書検索の OPAC は中京大図書館の本を検索したい場合に利用する。
- ・資料検索の Webcat および Webcat Plus は全国大学図書館の本を横断的に検索したい場合に利用する。Webcat Plus は、目次や帯情報などの表示も得られるので大変便利である。
- ・資料検索の国立国会図書館 OPAC は、前述の手段では所望の本が見つからない場合に利用する。

大学生の読書感想文

文学研究科 博士後期課程3年 鈴木 友子

夏休みが終わり、秋学期が始まった。小学校・中学校・高校の夏休みの宿題の定番といえば、読書感想文がある。大学生になってからは、さすがにそのような宿題はないだろうが、誰もが一度は経験した事があるだろう。読書感想文といえば本を読まなければならない、作文を書かなければならない、面倒なものだ、というイメージがあると思う。読書嫌いにはもちろん、読書好きであっても誰かに強要されて読んだり、書いたりするのは少なからず抵抗がある。私も本を読むのは好きだったが、読書感想文はあまり好きになれなかった。面白いと思った場面を文にしても、書き直すうちに面白くなくなってしまうのだ。思い返せば、文章力が未熟なこともあり、新鮮な感動がどんどん失せていったからなのだろう。しかし、今になって読書感想文を書く事の大切さがわかってきた気がする。

読書感想文は誰もが簡単にできる文章トレーニングで、本を読めば他の人にも解る事（内容）と、自分にしか解らない事（感想）で構成されている。たいていの本には何らかのストーリーがあるので、内容は書きやすい。しかし感想は、一つ一つ言葉を選んで、人に伝わりやすいように自分で工夫しなければならない。思うようにならないと嫌気が差してくる。だからなのか、ありがちな読書感想文には、本のあらすじしか書いていない。それでもしっかり読んで書いたのならともかく、ネットであらすじを抜き出して書いたり、最初と最後だけ読んで書いたものは、面白くもない。第一、その人が書く必要性がない。

そもそも私がなぜ大学生の読書感想文というものについて考えたか。読書感想文で書く事は、別に本に限った事ではなく、新聞記事やブログにも、当てはまるのではないかと考えたからである。レポートや論文は調べた事をまとめるものだが、書く過程では感想が必要な時もある。料理などでも日記に感想を書いたりする人がいるが、ちゃんとその本や料理の内容を理解しなければ良い感想は書けない。自分のレベルに合わせて理解するためには、要約してわかりやすい文にするというのが必要だ。自分の頭で理解できていなければ、短い感想を書くときはともかく、長い感想を書くときに書いた人の中身が（ボロが）出てしまう。「自分磨き」に、読書感想文は役に立ちそうな気がする。

最近、自分の感想を持つ事、伝える事が本当はとても大切な技術なのだという事を実感した。ある時、高校生の読書感想文を読む機会があった。その中には、感想が「感動した、面白かった」とか「共感した、泣けた」だけで、「何がどう感動したのか」が全く解らないものがあった。けれども書いた本人と直接話してみると、色々な言葉で面白さを伝えてくれた。本当に面白いと思っても、その面白さを人に伝えるという事は、難しいものだなど改めて思った。よく考えてみたらそうした事はできて当たり前の事のはずだが、ここぞという大事な時に必要だ。

大学でも、発表やスピーチをしたり、課題を提出する機会がある。いつもその場しのぎで辛い思いをしている人もいるだろうし、憂鬱になる人もいると思う。人に何かを伝えることも、自分の意見を持つ事も、身近な事で練習してみてもはどうだろう？それぞれ自分の専門分野と関連させられれば、一石二鳥になる。この秋を読書の秋、勉学の秋にしたい人におすすめしたい。

児童文学の旅(13)

—M. セルバンテス：スペイン、ラ・マンチャ地方—

原 昌

一昨年の冬、妻が結婚50周年を前取りして、スペインに行きたいという。それに、スペイン語もできないし、あなたの案内では危なっかしいので、団体ツアーにしてと頑固にいう。

気ままな旅を楽しんできた私にとっては、最悪の提案であった。

それにしても、結婚50周年がいつなのか、私は考えてもみなかった。ドイツの詩人ダンテは、人生は〈道〉、人は〈道ゆくもの〉という言葉を残したが、いま思えば50年の〈道〉は長いようで短かったし、それにいっしょに旅人として歩いたことが、妻にとって良かったのか、悪かったのか訊ねたこともない。私にとっては幸いだったが、この50年は、模索しながら歩いてきた〈児童文学の旅〉でもあった。

今回は、ともかく妻の意に添うことにし、ビジネス・クラスの団体ツアーに申し込んだ。安いキップで外国に出かけていた私にとっては、これは初めてのことであった。

2月23日、成田からバルセロナへ、そしてトレドの古い街を訪れてから、ラ・マンチャ地方に入った。ラ・マンチャとは、アラビア語で「乾いた大地」だという。

茶色っぽい風景に、いくつもの風車が見えてくる。丘に登ると、はるか下のほうに、白い村が見える。木々の緑もなく、レンガ色の屋根に白い壁の家々が群がっている。

ところで、この高い丘がセルバンテス『ドン・キホーテ』の舞台だったという。物語のなかで、騎士ドン・キホーテがたくさんの風車に出会い、風に揺れる羽根をみて、悪い巨人たちがいると思い込んでしまう。従者サンチョ・パンサが「巨人でない、風車だよ！」というのもきかず、槍を突き出し、愛馬ロシナンテにまたがって突進していく。だが強風が吹いてきて、ドン・キホーテと馬のロシナンテはとばされ、地面に投げだされてしまう。

もともと『ドン・キホーテ』は、大人向きの近代小説（1605年作）で、「世の不正をただす」という理想をもった主人公と、いつも世俗に生きる従者サンチョ・パンサとの奇想天外な物語だが、冒険性があり、笑いが豊かなので、早くから再話化され、子どもの文学としても定着した。

私たちの人生に立ち返ってみると、私が理想を追い、ときどき迂闊なことをするドン・キホーテ派、妻が着実なサンチョ・パンサ派だったかもしれない。「いや、それが、ごくありふれた夫婦関係だよ」という人もいるだろう。『ドン・キホーテ』物語は、おもしろいだけでなく、〈人と生涯〉を考えさせる物語でもある。ラ・マンチャ地方への旅は、結婚記念であったが、私たちの生涯についても、ふり返る旅であった。

だが帰国後、長い旅路と気圧変化のせいで、妻は病んだ。医師から今後航空機による長い旅を禁じられた。これが、2人で行く、外国への最後の旅になった。

旅人が歩いていく、長い〈道〉のうえには、思いがけない障害が横たわっている。

(中京大学名誉教授)

■ ■ 風車の村 カンポ・デ・クリプターナ ■ ■



セルバンテスが描いた「ドンキホーテ」は誰もが知る名前。このドン・キホーテが巨人「ブリアレーオ」の長い腕と見まちがえたのは、カンポ・デ・クリプターナの丘に並び立つ巨大な風車の羽根だった。昔はこの風車は小麦を挽く為に使われたもので、現在ではこの古い型の風車はこの村に9基保存されている。





新着図書のご案内



2009年6月～9月の受入図書の中から一部をご紹介します

書名	著者	出版社	出版日付	資料ID	所在	請求記号
学びのシラバス:読むオープン・キャンパス	壺内慎二 [ほか] 編	萌書房	2009.5	1117915	LSC 開架書庫	002/Ma 43
暴走するネット社会: ネットは人間に幸福をもたらしたか	北島圭著	花伝社 / 共栄書房 (発売)	2009.4	1116660	LSC 開架書庫	007.3/Ki 65
本の知識	日本エディタースクール編集	日本エディタースクール出版部	2009.5	1117493	LSC 開架書庫	020/N 71
古本買いまくり漫遊記	北原尚彦著	本の雑誌社	2009.4	1117191	LSC 開架書庫	024.8/Ki 64
新聞学 新訂	浜田純一、田島泰彦、桂敬一編	日本評論社	2009.5	1117168	LSC 開架書庫	070.1/I 51
民主党の研究 新版 (平凡社新書: 478)	塩田潮著	平凡社	2009.6	1117461	LSC 開架文庫新書書架	080/H 51/478
道楽三昧: 遊びつづけて八十年 (岩波新書: 新赤版 1199)	小沢昭一著 / 神崎宣武聞き手	岩波書店	2009.7	1118404	LSC 開架文庫新書書架	080/I 95/4-1199
選ばれる男たち: 女たちの夢のゆくえ (講談社現代新書: 2002)	信田さよ子著	講談社	2009.7	1118151	LSC 開架文庫新書書架	080/Ko 19/2002
名古屋ノーベル賞物語	中日新聞社社会部編著	中日新聞社	2009.6	1117534	LSC 開架書庫	289.1/C 65
官僚病から日本を救うために: 岸田秀談話集	岸田秀著	新書館	2009.5	1117291	LSC 開架書庫	304/Ki 57
18歳の政治学	松下啓一、瀬島誠編著	晃洋書房	2009.5	1116890	LLC 開架書庫	311/Ma 88
時効廃止論: 「未解決」事件の被害者家族たち	毎日新聞社会部著	毎日新聞社	2009.5	1118393	LLC 開架書庫	326.23/Ma 31
麻薬とは何か: 「禁断の果実」五千年史 (新潮選書)	佐藤哲彦、清野栄一、吉永嘉明著	新潮社	2009.5	1117438	LSC 開架書庫	368.83/Sa 85
大学の反省 (日本の「現代」: 11)	猪木武徳著	NTT 出版	2009.4	1116837	LSC 開架書庫	377.21/I 56
大学生のためのキャリアガイドブック	寿山泰二 [ほか] 著	北大路書房	2009.3	1117222	LSC 開架書庫	377.9/D 16
日本が拉致問題を解決できない本当の理由 (わけ)	荒木和博著	草思社	2009.7	1117672	LSC 開架書庫	391.61/A 64
奇跡の脳	ジル・ボルト・テイラー [著] / 竹内薫訳	新潮社	2009.2	1117953	LSC 開架書庫	493.73/Ta 98
終りよければすべてよし	羽田澄子編著	岩波書店	2009.6	1116995	LSC 開架書庫	498.04/H 29
誰も知らないサプリメントの真実 (朝日新書: 183)	高田明和著	朝日新聞出版	2009.6	1118043	LSC 開架書庫	498.583/Ta 28
人はなぜマンガ喫茶に集まるのか?	小林信三、関子貴士著	しのめ出版 / 星雲社 (発売)	2009.4	1116347	LSC 開架書庫	673.98/Ko 12
美しいこと	赤木明登著 / 小泉佳春写真	新潮社	2009.4	1120192	LSC 開架書庫	702.16/A 29
アトリエの巨匠に会いに行く: ダリ、ミロ、シャガール… (朝日新書: 181)	南川三治郎著	朝日新聞出版	2009.6	1118045	LSC 開架書庫	702.8/Mi 37
漫才	ビートたけし著	新潮社	2009.5	1117522	LSC 開架書庫	779.14/B 48
煉獄の使徒	馳星周著	新潮社	2009.5	1117537	LSC 開架書庫	913.6/H 35/1
刑事病	飯塚訓著	文芸春秋	2009.6	1117515	LSC 開架書庫	913.6/I 28
誘惑	北原亜以子著	新潮社	2009.5	1117520	LSC 開架書庫	913.6/Ki 64
望郷の道	北方謙三著	幻冬舎	2009.3	0940665	豊田開架室	913.6/Ki 65/1
かあちゃん	重松清著	講談社	2009.5	1117436	LSC 開架書庫	913.6/Sh 28

書名	著者	出版社	出版日付	資料 ID	所在	請求記号
デジタル社会はなぜ生きにくいか (岩波新書：新赤版 1185)	徳田雄洋著	岩波書店	2009.5	0941348	豊田開架文庫新書書架	080/I 95/ 4-1185
経済成長という病：退化に生きる、 我ら (講談社現代新書：1992)	平川克美著	講談社	2009.4	0940653	豊田開架文庫新書書架	080/Ko 19/ 1992
なぜ年をとると時間の経つのが速く なるのか：記憶と時間の心理学	ダウエ・ドラーイ スマ著 / 鈴木晶訳	講談社	2009.3	0941625	豊田開架室	141.3/D 91
夢をかなえる人生のガイドブック	ジェフ・ケラー著 / 弓場隆訳	ソフトバンク クリエイティブ	2009.3	0941634	豊田開架室	159/Ke 32
全盲先生、泣いて笑っていっぱい生 きる	新井淑則著	マガジンハ ウス	2009.3	0940667	豊田開架室	289.1/A 62
歳月の鉛	四方田犬彦著	工作舎	2009.5	0941710	豊田開架室	289.1/Y 81
大転換：脱成長社会へ	佐伯啓思著	NTT 出版	2009.3	0941626	豊田開架室	304/Sa 14
あなたは「死刑」と言えますか： ケーススタディ「人を裁く基礎知識」	山田秀雄編著	プレジデ ント社	2009.5	0941728	豊田開架室	327.6/Y 19
女性の働きかた (叢書・働くという こと：第7巻)	武石恵美子編著	ミネルヴァ 書房	2009.6	0941755	豊田開架室	366.38/ Ta 62
スポーツ心理学者が教える「働く意味」の 見つけ方：なぜあの人はあんなに頑張る のか (KINDAI E&S BOOK)	杉浦健著	近代セー ルス社	2009.7	0941665	豊田開架室	366.94/Su 48
「エコ恋愛 (ラブ)」婚の時代：リス クを避ける男と女 (光文社新書：407)	牛窪恵著	光文社	2009.6	0941754	豊田開架室	367.4/U 93
子供たちはみんな表で遊んでた	堀切直人著	右文書院	2009.4	0941361	豊田開架室	384.55/H 89
光るクラゲがノーベル賞をとった理由 (わけ)：蛍光タンパク質 GFP の発見物語	生化学若い研究者 の会編著	日本評論社	2009.4	0941499	豊田開架室	464.2/Se 17
健康脳になる：もの忘れは怖くない！	米山公啓著	青志社	2009.5	0941520	豊田開架室	498.39/Y 84
エコがお金を生む経営	ゲイリー・ハーシュバ ーグ著 / 上原裕美子訳	PHP 研究所	2009.5	0941356	豊田開架室	519.13/H 75
背伸び式健康ダイエット	佐藤万成編著： 中川一好著	新潟日報事 業社	2009.4	0940998	豊田開架室	595.6/Sa 85
産業遺産を歩こう：初心者のための 産業考古学入門	平井東幸、種田明、 堤一郎編著	東洋経済新 報社	2009.4	0940585	豊田開架室	602.1/H 64
現代アートの舞台裏：5カ国6都市 をめぐる7日間	サラ・ソーン トン著 / 鈴木泰雄訳	ランダムハ ウス講談社	2009.5	0940928	豊田開架室	702.07/Th 8
死んだら、あかん！	北野誠著	メタモル出 版	2009.5	0941282	豊田開架室	779.9/Ki 69
アスリートの夢：26人のアスリー ト×きむ	日本ドリームプロ ジェクト編	いろは出版	2009.7	0941511	豊田開架室	780.21/N 71
スポーツの現在を検証する：特集(現 代スポーツ評論：20)	友添秀則責任編集 / 中村敏雄、清水論編集	創文企画	2009.5	0941521	豊田開架室	780.5/To 62
物語論で読む村上春樹と宮崎駿：構 造しかなない日本 (角川 one テマ21：A-102)	大塚英志 [著]	角川書店 / 角川グル ープパブリッシング (発売)	2009.7	0942394	豊田開架室	910.268/ O 88
三匹のおっさん	有川浩著	文藝春秋	2009.3	0941387	豊田開架室	913.6/A 71
鷺と雪	北村薫著	文藝春秋	2009.4	0941440	豊田開架室	913.6/Ki 68
玻璃の家	松本寛大著	講談社	2009.3	0940592	豊田開架室	913.6/Ma 81
遠くの声に耳を澄ませて	宮下奈都著	新潮社	2009.3	0941776	豊田開架室	913.6/Mi 83
外務省ハレンチ物語	佐藤優著	徳間書店	2009.3	0941714	豊田開架室	913.6/Sa 85
毎日ありがとう：あなたの心をあ たためる88の物語	朝日新聞出版編	朝日新聞出 版	2009.5	0941702	豊田開架室	914.68/A 82



毎月、約2,000冊の図書を受入しています。OPACでも是非、検索してみてください。

購入希望図書は、閲覧カウンター、またはOPACからお申し込み下さい。



図書館カレンダー

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10月							10月							10月							10月						
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31
11月							11月							11月							11月						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30						29	30						29	30					
12月							12月							12月							12月						
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31		
1月							1月							1月							1月						
				1	2						1	2						1	2						1	2	
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30
31							31							31							31						
2月							2月							2月							2月						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28							28							28							28						
3月							3月							3月							3月						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31				28	29	30	31				28	29	30	31				28	29	30	31			

通常開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター (LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 22:00	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 20:00
土曜日	9:00 ~ 12:30		9:00 ~ 12:30	9:00 ~ 17:00

※都合により、開館日・開館時間を変更する場合があります。
(図書館 HP にてご確認ください)

無印は通常開館

■ は休館

● の開館時間 (10:00 ~ 17:00)

○ の開館時間 (9:00 ~ 16:00)

○ の開館時間 (平日 9:00 ~ 17:00 土曜日 9:00 ~ 12:30)

発行 中京大学図書館

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2

TEL(052)-835-7157

http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/

印刷 株式会社 荒川印刷